



会長:寺下能明 幹事:小林一三 会報委員長:寺下能明

事務局 E-Mail : rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アバローム紀の国 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

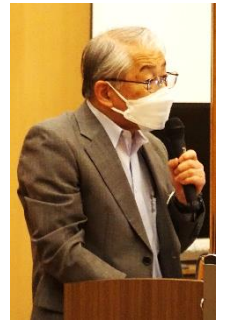
3/29(水) 例会ゲスト・ビジター報告

ゲスト: 向陽高等学校 校長 前田成穂先生、奨学金担当 和田真木先生  
東南青英会奨学生 3年生 2名

《 会長挨拶 》 寺下能明会長

本日も例会にご出席していただき、有り難うございます。  
今日は、恒例となっています、向陽高校の方々においでいただいています。  
向陽高校の前田校長先生と担当の和田先生、それに学生さん2名榎本さんと北野さん  
にお越しいただきました。

一年に一度、このように向陽高校のみなさんにお会いするこの季節、いろいろな  
変わり目の季節でもあります。桜も満開です。お若い学生さんらの前途が幸多いこと  
を願わずにはられません。今日はよく来てくれました。会員一同歓迎致します。



《 幹事報告 》 小林一三幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。  
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。  
・第38回和歌山東南RC旗争奪野球大会(2/26-3/19)費用165,000円(記念メ  
ダル、試合用ボール)の送金明細票(青少年奉仕委員会・奉仕会計)  
・第38回和歌山東南RC旗争奪野球大会(2/26-3/19)成績表
- ② 次年度役員・理事・委員会名簿を皆様のラックにいれさせていただきます。  
お目通しいただきますよう よろしくお願い申し上げます。
- ③ 2023-2024年度のための地区研修・協議会のご案内  
日時・場所:4月16日(日)受付9:30~、開会10:00~(昼食)閉会17:00、和歌山大学  
部門:会長、幹事・IT・RLI、情報規定、社会奉仕、職業奉仕、青少年関連、会員増強・維持、  
雑誌・公共イメージ、国際奉仕、ローター財団、米山記念奨学会  
各部門の委員長様、年度変わりの中、お忙しいとは存じますがご出席よろしくお願い致します。
- ④ 地区より「2024-2025年度青少年交換長期派遣学生募集」の案内が届いており  
ます。仮申請書提出締め切りは6月30日(金)です。選考試験は7月23日(日)  
派遣可能国はアメリカ、ドイツ、タイ、カナダ、オーストラリア、インドネシア等
- ⑤ インターシティミーティング第3組(ホストR.C.:和歌山北R.C.)が、  
今週末4月1日(土)13:00~16:30(登録受付12:30~)、アバローム紀の国で行われます。  
第1部は和歌山市観光課長講演、第2部は市内9RC会長発表です。当日のご参加も大丈夫ですの  
で、ご都合がよろしければ出席よろしくお願い申し上げます。



本日の出席報告					寄付金	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南青英会
会員総数	36名		出席者	出席率					
出席免除会員	2名	3/29	23名	65.71%	累計	1,224,160	281,000	371,000	5,000

## 《 幹事報告 》 小林一三幹事

- ⑤ 来週（4/5（水））の例会は12:30～と時間・場所変更となっております。  
場所は和歌山城公園 二の丸庭園でのお花見例会です。お弁当はアバローム紀の国のお花見弁当です。皆様のご参加、よろしく願いいたします。  
雨天の場合は12:30～アバローム紀の国で例会を行います。社会奉仕事業「和歌山城二の丸庭園トイレ改修 贈呈式」は和歌山市役所本庁7階記者会見室で14:00～行われます。

## 《 ニコニコ箱報告 》 小林一三幹事

- 寺下君：向陽高校のみなさんを歓迎します。  
土屋君：3/25-3/27に行われたライラ研修セミナーが無事終了いたしました。  
沢山の会員にも応援していただき誠に有難うございます。感謝いたします。  
塩崎君：I. D. M. C班 残金です。



## 《 米山記念奨学会 》

- 小林君：主旨に賛同して。

## 「 委員会報告 」



ロータリー情報・規定委員長 赤在依美

第4回 I. D. M. テーマについて

「 今期新入会員様を多く迎えて 会員間の親睦と皆出席の向上について」  
以上のテーマを各班で纏めていただいて、5月17日(水)12:30～の例会にて発表をお願い致します。

## ♪ソング斉唱♪ 餘坂ソング委員長 「花になろう 鳥になろう」



ゲスト報告 松田親睦委員長



東南育英会奨学金担当 和田真木先生

## 「東南育英会奨学生 1年間の学生生活報告」 和歌山県立向陽高等学校 3年生 2名は例会場での発表、2年生・1年生はビデオメッセージ

### 和歌山県立向陽高等学校 校長 前田成穂先生



和歌山東南ロータリークラブの皆様へ

向陽高等学校校長の前田成穂と申します。東南ロータリークラブの皆様には、日頃より本校の生徒への多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度を振り返りますと、コロナ禍も三年が過ぎ、マスクの着脱が個人の意思となったり、コロナ感染症が2類から5類相当へ移行されることが政府から打ち出されたりして、社会全体が「With コロナ」の考え方が随分浸透してきました。これらと呼応するごとく、授業や学校行事等については計画通り円滑に進めることができましたが、学校生活は密になることが多いため、生徒には、友人等との会話の際はマスクの着用を呼びかけたり、昼食時は個食・黙食を行うよう放送で呼びかけてきました。

こうした状況の中、去る3月1日、271名の生徒が本校を巣立ちました。進路結果については、国公立大学に現役で162名が合格し、私立大学にも多くの生徒が進学することになっています。この学年の特徴は、東京大学に2名（文I、理I）、神戸大学9名、大阪公立大学19名、和歌山大学44名が合格しました（令和5年3月27日現在）。

東南ロータリーでご支援をいただいた北野さんは奈良女子大学に、榎本さんは皇學館大学に進学することになりました。2人とも自分自身が描いた進路目標を達成し、来月4月からそれぞれ新しい道を歩むことになっています。本当にありがとうございました。

本校の奨学生は、定期的に皆さま方と懇談する中で、自らの近況報告を語り、その都度、皆さま方から激励や心温まる言葉をいただいたからこそ高校生活を通して成長できたと思います。改めて心から感謝申し上げます。引き続き、在校生の奨学生についてご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

### 和歌山県立向陽高等学校3年生

3年間、奨学金のご支援ありがとうございました。頂いた奨学金は、一部は日々の学習に活用させていただき、残りの一部は母が進学のためにと貯めてくれていて、今回進学する際に使わせていただきました。ありがとうございました。

入学してから卒業まで、学校生活や部活動、休日に友達と遊ぶ時でも常に新型コロナウイルスに振り回されていた3年間でした。中学生の時に思い描いていたような高校生活ではありませんでした。ですが、先日卒業式を終えて友達と旅行に出かけたり遊びに行ったりした時に、写真や思い出を振り返ってみると、大事にしたいなと思える思い出がたくさんあった3年間だったな、と感じました。3年間の間に撮った写真のほとんどはマスクがついていて顔は見えないし、楽しい行事がどんどんなくなっていくのに、テストや模試は予定通り行われていくことに対して友達と嘆いたり、出来なかったこともたくさんあったけれど、とても楽しかった3年間でした。間違いなく、一生忘れないと思っています。

私たち3年生は、この3月1日に向陽高校を卒業しました。私は、部活動を引退した8月末から本格的に受験勉強を始め、始めた時期が周りより遅かったのもあり、最後まで焦っていた半年間でした。先生方に励まされたり、友達も夜遅くまで一緒に勉強してくれたりしたおかげで、本当にありがたいことに、第1志望だった大学に合格させて頂くことが出来ました。春から新しい生活が始まることになり、知らないことだらけでとても緊張していますが、4年間の大学生活を素敵なものにできるように大切に過ごしていきたいと思っています。

最後になりましたが、3年間のご支援、本当にありがとうございました。ご恩に感謝して、大学でも勉学に励むとともに、将来は社会に貢献できる大人になりたいと考えています。

## 和歌山県立向陽高等学校 3 年生

3 年間、温かいご支援をありがとうございました。頂いた奨学金は部活動での費用や参考書などに使わせて頂きました。

私は 4 月から皇學館大学の教育学部に進学します。教師になりたいと考え、教育学部を選びました。私が教師になりたいと思ったきっかけは高校時代の先生との出会いでした。私は中学時代まで勉強を受動的に捉えることがたくさんありました。しかし、高校生になってから先生方が面白く楽しく授業をしてくださったおかげで、勉強を受動的ではなく能動的・主体的に捉えられるようになりました。特に日本史の先生は、おもしろく楽しく授業をしてくださるだけでなく、人物や事件のエピソードや裏話など、教科書には載っていないことまで詳しく教えてくれました。そのため、暗記すべき部分を授業中に覚えられたり、先生の授業を思い出しながら勉強をするので復習の時間が短くなったりしました。そんな日本史の先生を始めとする高校時代の先生と出会えたことで教師になるという夢を持つことができました。

私が教師になりたいと思ったきっかけはもうひとつあります。私の住む海南市には「リーダーズクラブ CWP」という団体があり、私は小学 5 年生の時から参加しています。活動内容は地域のお祭りの手伝いやキャンプのサポートなどがあります。この活動に参加して子供たちが自ら考えて行動したり、できることが増えていくのを見ていくと、私自身も嬉しくなり、とてもやりがいを感じられます。このように子供たちが成長していくのを見るのが好きで、子供たちが 1 番成長できる場である学校で成長を見届けたいという思いから教師を目指すようになりました。

4 月からの 4 年間、高校時代にいただいたご支援に感謝して勉学に励み、夢に向かって頑張ります。

## 和歌山県立向陽高等学校 2 年生

東南ロータリークラブの皆様、いつもご支援いただき本当にありがとうございます。いただいた奨学金は参考書の購入や模試の費用に使わせていただきました。

今年は 2 年生ということもあり、定期テストや週例テスト、学校生活にもすっかり慣れたので気が緩んでしまわないように、「基本が最も大切」ということを意識してこれまで以上に頑張りました。特に 1 年生の頃から授業を受けるのを楽しみにしていた世界史は、授業をよく聞きノートを自分なりにまとめ、話を理解しながら勉強したので、五回あった定期テストでは、毎回高得点を取ることができました。同じく得意教科である英語でも、毎週月曜日の単語テストや授業の復習、リスニングを継続して毎日するなど基本的なことをとても頑張りました。しかし、いざ模試を受けてみると、見たことがあるのに意味が分からない単語があったりリスニングが速くて聞き取れなかったりすることがまだまだ多くあります。その度に、入試までに完璧にできるように頑張らなければならないことを痛感しています。また苦手な数学では定期テストの範囲の問題で分からないところを積極的に先生に質問して、解き直した時に理解できているかを確認するということを繰り返しました。

学業だけでなく学校行事にも熱心に取り組みました。2 年生で最も印象深かった出来事は何といっても修学旅行です。2 泊 3 日で奈良、三重に行きました。絶叫コースターに 6 回も乗ったこと、友達と語り合ったこと、お土産をあちこち探し回ったこと、すべてが新鮮で素晴らしい思い出になりました。

来年度も、「基本が最も大切」ということを忘れず、目標を高く持ち、学業も行事も一生懸命取り組みたいと思います。進路実現に向けて頑張っていきますので、これからも東南ロータリークラブの皆様のご支援のほど、よろしくお願い致します。

## 和歌山県立向陽高等学校 2 年生

東南ロータリークラブの皆様、日々のご支援本当にありがとうございます。皆様から頂いた奨学金は、模試の受験費用、学習教材の購入などに使用させてもらっています。奨学金のおかげで自分の欲しい教材などがすぐに購入できて、本当に助かっています。

さて、私にとってこの 1 年は、自分の将来について深く考える 1 年となりました。2 年生になって、理系に進んだ私は化学と生物、数学Ⅲを選択して学びました。

また模試では、受験する教科数が増え、つい最近に受けた 3 月 4 日の全統共通テスト模試では 8 教科を午前 8 時半から午後 7 時にわたって受験しました。志望大学への合格可能性の判定により、自分の実力が鮮明に反映されるようになり、周りの子たちと進路について話すことが増えたと実感しています。

そんな日々を通して、私は自然と焦りや受験生になるのだなという自覚が日に日に強くなっていきました。返却された模試の結果を見て落ち込み、こんな感じで大丈夫なのかと不安になることもありました。しかし、周りでめげず努力を続ける友人たちを見て、自分も負けてられないと思うことの方がたくさんあったと思います。また先生方も、まだまだこれからだと私を励ましてくれました。この恵まれた環境を活かし、来年度の1年間自分のベストを尽くせるよう、春から気持ちをしっかり入れ替えて勉強に力を入れたいと思います。まずは休みの多い3月に基礎を復習し、夏からの演習に備えて苦手な範囲をできるだけ減らしていけたらなと思います。何より1年後振り返ってみて悔いが残らないような1年間にしたいです。

最後に、改めて今年度のご支援のお礼を申し上げたいと思います。いつも本当にありがとうございます。東南ロータリーの皆様にも良い結果をご報告できるように、全力で頑張りますので、来年度もご支援のほどよろしくお願い致します。



### 和歌山県立向陽高等学校 1年生

奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。奨学金のご支援のおかげで、学業に集中して取り組むことができます。私は幼いころから夢が多く、今もしてみたいことが沢山で夢も具体的に決まっています。ですから、将来どの道に進んでも成功できるように、今は向陽高校で勉強に励んでいます。

高校に通い始めた当初は、レベルの高い授業に戸惑いました。しかし、友人やクラスメイト、高校の先生方に助けていただき、今では非常に充実した高校生活を送ることができています。また、夢をしっかりと持ち、その夢に向かって頑張っている友人の姿を見て、私も負けてられないという気持ちでより勉強に励むことができました。定期テストや模擬試験でなかなか成績が振るわないときは、自分の不甲斐なさにショックを受けました。いろいろな方に助けていただいたのにいい結果を出せないことに、辛さと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、後悔よりテストの復習の方が大切だという友人の言葉で前を向けるようになりました。また、奨学金のご支援をいただいているからには、期待に応えたいと思うようになりました。

今後の目標は、私が将来したいことを探しながら、今しかできないことを楽しむことです。少し欲張りかもしれませんが、達成できるようにより一層努力を重ねていきたいと思います。最後まで気を緩ませることなく高校生活を送り、ご支援していただいたことに感謝して精進します。今後どうぞよろしくお願い致します。



### 和歌山県立向陽高等学校 1年生

東南ロータリークラブの皆様、今年度は温かいご支援ありがとうございました。

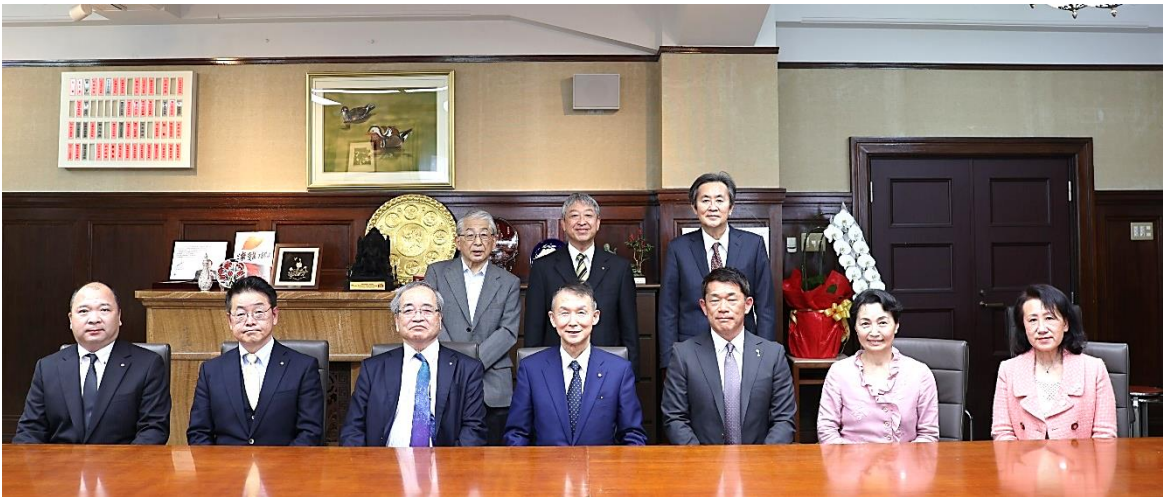
私が東南ロータリークラブ様の奨学金を希望したきっかけは、同居している祖母の体調が悪化したことです。母が介護、仕事、家事を1人でこなさないといけなくなり、とても大変そうだったので、私の学習に関わる部分に奨学金を使わせていただくことで、母の負担を少しでも軽くしてあげたいと思いました。

その祖母が今年の2月半ばに旅立ちました。私にとって物心がつく頃から一緒に過ごしてきた祖母は美味しいご飯を作ってくれたり、旅行にもたくさん出かけたりした大切な家族です。元気だった祖母が病気になり、少しずつできることが少なくなり、最後は何も話せなくなっていく姿を見て、小さい頃からずっと医療の道に進みたいと思っていた気持ちが不安へと変わっていきました。憧れの職業をとてもリアルに感じ、良かったこともありましたが、同時に怖いという気持ちも起こりました。でも、この経験は私にとってとても貴重なものとなりました。今はまだしっかりと気持ちの整理ができていませんが、ずっと夢に見てきた医療の道へと進路を進めたいと思っています。

そのために、2年生は理系を選択しましたがまだまだ勉強不足なので苦手な教科、苦手なことを中心にしっかり理解して深い学びにつなげていきたいです。

今年度は、定期テストや模試に加えて、週例テストなど慣れないことばかりでついていくのに必死でした。登下校にも時間がかかり家庭での勉強時間があまりとれないこともありました。今後は、復習の時間を大切にして、部活などとの両立もできるように改善し、2年生をスタートしたいと思います。

高校3年間はあっという間だとよく聞きます。後でもっとこうしておけば、と思うことがないように1日1日を大事にして、自分の目標に向かって頑張りたいです。また、支えてくれている家族や友達、そして東南ロータリークラブの皆様への感謝の気持ちを忘れずに行動していこうと思います。



日時・場所：2023年3月8日(水)

16時20分、和歌山県知事室

「新和歌山県知事表敬訪問「岸本周平知事」

和歌山市内9RC、会長・幹事